

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【小野小学校】

＜第3学年：小野大好き わたしの町のすてき発見＞

自分たちの住む町のよさを調べるために、校区探検をした。小野校区には、神社や寺が点在し、地域の人々から大切にされ、残されているものが多いことに気付いた。

また、地域の自然と触れ合うため、小野川の水生生物の調査をしたり、地域のみかん農家の方に教わりながらみかん摘み体験を行ったりした。学校の近くを流れる小野川へ行き、見つけた水生生物をもとに水質を調べることで、小野川には、きれいな水質に住む水生生物がたくさんいることを実感することができた。

これらの活動から、小野の自然や伝統のよさを知り、これからも地域の人々の願いや思い、豊かな自然を大切にしていきたいという思いを高めた。

＜第4学年：ハートフルタウン小野＞

高齢者や体が不自由な人について調べた。手話や点字、車椅子など便利さや機能面のよさ等、体が不自由な人の立場に立って調べることで、その人の気持ちや暮らしやすい町づくりの必要性を感じることができた。調べた後、様々な模擬体験をした。地域の福祉施設の方に協力していただき、高齢者の体の不自由さや車椅子の操作の難しさ、介護をする人の大切さ等、全ての人の福祉の充実の大切さを実感した。ここから、全ての人が住みよい町づくりについて考え、便利な道具を考えたり、ポスターを作ったりした。相手の立場に立って行動し、自分にできることを実践しようとする意欲につながった。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【小野小学校】

<第5学年：ルッキング フォー マイ ドリーム>

将来への展望をもつために、まずどのような仕事があるのか職業マップを活用して確かめた。同時に、自己分析シートを用いて自分について見つめる活動を通して、それぞれの得意・不得意や興味・関心に気付くことができた。また、愛媛新聞に取り上げられた職業で活躍している方々をゲストティーチャーとして学校に招き、これまでの経歴や仕事内容、仕事をする上で大切にしていること等を聞いた。その過程で、仕事をする人たちの生き方や考え方に触れ、自己の将来像の具現化の参考とすることができた。さらに、ゲストティーチャーの話から情報を整理し、いいなと思うポイントを「いいなポイント」としてまとめて友達と意見交流をすることで、それぞれの職業観の見直し、これからの学校生活や将来に生かしたいという思いをもった。



<第6学年：ヒストリア小野

～未来につながる歴史ストーリー～

地域の大切な史跡として保存されている「葉佐池古墳」の見学、考古館の見学や県立松山北高等学校郷土研究部による小野の伝承についての出前教室等で体験学習を行い、小野地区や松山市の歴史について調べることで学習を深めた。また、地域のボランティアで組織されている「葉佐池くらぶ」や「紙芝居研究会のぼーる」の方々を学校に招き、地域の史跡やよさを守り残そうとしている方々の活動を知ることによって自分達も地域を大切にし、地域のよさを広めて、守っていこうとする意識を高めることができた。





# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【小野小学校】

<第1学年：いきものとなかよし>

校庭や学級園で虫を捕まえ、適切な飼い方を調べて、飼育する環境を整えた。すみかをつくったり、虫の餌やりをしたりする活動を通して、虫の体の変化や生命の大切さに気づき、これからも生き物を大切にしていこうとする気持ちをもった。

<第1学年：たのしいあきいっぱい>

11月に、愛媛県医療センターの雑木林に出掛け、どんぐりや木の葉などを収集した。

帰校後、集めた自然物で、「どんぐりごま」「どんぐりめいろ」「まとあて」など、様々なおもちゃを作り、友達と遊ぶ活動を行った。

それらの活動を通して、季節を生かして遊ぶ楽しさや、自分で遊びを創り出す面白さを味わうことができた。



<第2学年：どきどき わくわく町たんけん>

自分たちの住む小野校区にある『小野公民館』に学級ごとに訪れた。館長に話を聞いたり、館内を案内していただいたりする中で、そのよさに気づき、そこで働く人への感謝の気持ちをもった。

その後、地域の様々な場所の探検に出掛けた。公園や神社仏閣などの訪問先や道中で、児童はたくさんの発見をしていた。途中で、挨拶を交わしたり、質問をしたりするなど、地域の方との関わりをもち、人との関わりを楽しむ姿も見られた。

これらの活動を通して、地域の場所や人に親しみや愛着をもち、そのよさに触れることができた。そして、これからもこの地域のよさを大切にしていきたいという思いを深めていた。

